

# 大学教育研究センター研究部専任教官の研究業績等一覧

(1997年1月1日～1997年12月31日)

## 波田 重熙 教授

### < 編著書 >

- ・ (研究代表者) 『学士課程と大学院のカリキュラムの接続に関する基礎的研究』神戸大学大学教育研究センター、全54頁
- ・ (編者) 『学士課程と大学院課程のカリキュラムの接続に関する基礎的研究(大学教育研究別冊第3号)』神戸大学大学教育研究センター、全54頁

### < 紀要・雑誌等論文 >

- ・ 「地球科学におけるフィールド教育の現状 - 学士課程と大学院課程のカリキュラムの接続に関連して - 」波田重熙(研究代表者) 『学士課程と大学院のカリキュラムの接続に関する基礎的研究』神戸大学大学教育研究センター、1頁～18頁
- ・ 「地球科学におけるフィールド教育の現状 - 学士課程と大学院課程のカリキュラムの接続に関連して - 」波田重熙(編) 『学士課程と大学院課程のカリキュラムの接続に関する基礎的研究(大学教育研究別冊第3号)』神戸大学大学教育研究センター、1頁～18頁
- ・ 「秩父累帯の構成と起源」 『高知大学黒潮圏研究所所報』12号、10頁～13頁
- ・ 「明石市及びその近隣地域の断層」 『明石の地形・地質調査報告書』19頁～30頁
- ・ 「兵庫県南部地震に伴う地表の変位・変状」 『特定研究「兵庫県南部地震に関する総合研究」平成8年度報告書』25頁～30頁(後藤博弥・平野昌繁と共著)
- ・ 「ニュージーランド南島を構成するテレーンとその形成」 『兵庫地学』42号、1頁～13頁(後藤博弥と共著)
- ・ "The final report of IGCP 321 (91-96) a draft" **Episodes (International Geoscience Newsmagazine)**, 52-54 (with Ren Jishun, Charvet, J., Metcalfe, I.).
- ・ 「甲陽断層と兵庫県南部地震による変位・変状」 『甲陽断層に関する最新情報 - 兵庫県南部地震と東六甲 - 』断層研究資料センター第10回セミナー資料集、1頁～12頁(平野昌繁と共著)
- ・ "Rift-Drift History and the Amalgamation of Shan-Thai and Indochina/East Malaya Blocks." **Proceedings of the International Conference on Stratigraphy and Tectonic Evolution of Southeast Asia and the South Pacific**, 273-286 (with Bunopas, S., Ishii, K. & Yoshikura, Y.), 1997.
- ・ "Terrane Analysis and Tectonics of the Nan-Chantha Buri Suture Zone." **Proceedings of the International Conference on Stratigraphy and Tectonic Evolution of Southeast Asia and the South Pacific**, 303 (with Bunopas, S.), 1997.
- ・ 「兵庫県南部地震と六甲山系の地質構造条件 - 地形災害の背景として - 」 『地形』18巻3号、203頁～222頁(平野昌繁と共著)
- ・ 「兵庫県南部地震に伴う海岸の変化」 『月刊地球』19巻9号、582頁～588頁(平野昌繁と共著)

### < 研究発表 >

- ・ 「四国秩父複合地帯とその起源 - 研究の現状と課題 - 」第49回地球科学談話会(大阪市立大学)1月24日

- ・「よりよい授業を求めて」平成8年度初任者研修（高等学校）（滋賀県総合教育センター）1月31日
- ・「兵庫県南部地震によって六甲山地で生じた水平加速度の推定とそれに関連する地形の変位・変状」日本地形学連合1997年春季大会（立正大学）（石井孝行・平野昌繁との共同講演）3月28日
- ・「明石の地形」地質調査報告会（明石市）4月11日
- ・「甲陽断層と兵庫県南部地震による変位・変状」断層研究資料センター第10回セミナー（建設交流会館）（平野昌繁と共同講演）6月4日
- ・"Rift-Drift History and the Amalgamation of Shan-Thai and Indochina/East Ma laya Blocks." **International Conference on Stratigraphy and Tectonic Evolution of South-east Asia and the South Pacific**, (with Bunopas, S., Ishii, K. & Yoshikura, Y.), August.20.
- ・"Terrane Analysis and Tectonics of the Nan-Chantha Buri Surture Zone." **International Conference on Stratigraphy and Tectonic Evolution of Southeast Asia and the South Pacific**, (with Bunopas, S.), August 20.
- ・「四国秩父累帯、特に秩父垂帯を構成する地質体」日本地質学会第104年学術大会（九州大学）10月11日
- ・「ニュージーランド南島、クリスタルビーチ地域（ケーブルステレーン？）の三畳系の層序と構造」日本地質学会第104年学術大会（九州大学）10月12日
- ・「神戸大学大学教育研究センターが目指したところと実際」大阪市立大学第5回教育改革シンポジウム 全学共通教育の現状と課題 - 神戸大学の経験から学ぶ - （大阪市立大学）11月14日

## 川嶋太津夫 助教授

### < 紀要・雑誌等論文 >

- ・「大学教員の資質の開発・向上と大学の活性化」『大学教育研究』第5号、神戸大学大学教育研究センター、47頁～58頁
- ・「学士課程と大学院課程の接続を考える カリキュラムの観点から」波田重熙（研究代表者）『学士課程と大学院のカリキュラムの接続に関する基礎的研究』神戸大学大学教育研究センター、19頁～27頁
- ・「学士課程と大学院課程の接続を考える カリキュラムの観点から」波田重熙（編）『学士課程と大学院のカリキュラムの接続に関する基礎的研究（大学教育研究別冊第3号）』神戸大学大学教育研究センター、19頁～27頁
- ・「高等教育研究・開発の現状と展望 神戸大学大学教育研究センター」『I D E・現代の高等教育』No.392（1997年11月号）、民主教育協会、40頁～45頁
- ・「ファカルティ・ディベロップメントをどう促すか」北海道大学・名古屋大学・大阪大学・神戸大学『S C S シンポジウム 1997 全学共通教育改革の現状と課題』1頁～10頁

### < 学会発表等 >

- ・「（講演）大学教員の資質の開発・向上と大学の活性化」高知大学、1月29日
- ・「ファカルティ・ディベロップメントをどう促すか」第1回S C Sシンポジウム「全学共通教育改革の現状と課題」（北海道大学・名古屋大学・大阪大学・神戸大学共催）5月27日
- ・「（講演）大学教員の資質の向上・開発を通じた大学の活性化」山口大学、10月6日

## 米谷 淳 助教授

### < 編纂書の一部に執筆したもの >

- ・「日本人と表情識別」辻三郎編『感性の科学 - 感性情報処理へのアプローチ - 』サイエンス社、146頁～150頁
- ・「学生の背中から学ぶ - 京都大学実験講義観察記のためのデッサン - 」京都大学高等教育教授システム開発センター編『開かれた大学授業をめざして - 京都大学公開実験授業の一年間 - 』玉川大学出版部、66頁～82頁

### < 紀要・雑誌等論文 >

- ・「授業改善に関する実践的研究 3 . 授業参観についての一考察」『大学教育研究』第5号、神戸大学大学教育研究センター、59頁～63頁（山内乾史と共著）
- ・「教養部解消と独立研究科設置 - 4つの国立大学でのインタビュー記録から - 」波田重熙（研究代表者）『学士課程と大学院のカリキュラムの接続に関する基礎的研究』神戸大学大学教育研究センター、29頁～53頁（山内乾史と共著）
- ・「教養部解消と独立研究科設置 - 4つの国立大学でのインタビュー記録から - 」波田重熙（編）『学士課程と大学院のカリキュラムの接続に関する基礎的研究（大学教育研究別冊第3号）』神戸大学大学教育研究センター、29頁～53頁（山内乾史と共著）
- ・"The evolution of leadership training: from theory-based program to case-based program." **Abstracts of Regional Conference of Internatinal Council of Psychologists**, 104.
- ・「メディアの使い分けを決定するもうひとつの要因」『第13回ヒューマン・インタフェース・シンポジウム論文集』、計測自動制御学会ヒューマン・インタフェース部会、691頁～696頁（木下結加里と共著）
- ・「授業評価はどこまで可能か」北海道大学・名古屋大学・大阪大学・神戸大学『S C Sシンポジウム 1997 全学共通教育改革の現状と課題』23頁～29頁

### < 研究発表 >

- ・「授業評価はどこまで可能か？」第3回S C Sシンポジウム「全学共通教育改革の現状と課題」（北海道大学・名古屋大学・大阪大学・神戸大学共催）（山内乾史と共同発表）6月10日
- ・"The evolution of leadership training: from theory-based program to case-based program." Regional Conference of Internatinal Council of Psychologists (Padua, Italy), "Cross-cultural Perspectives on Human Development", 23 July.
- ・「メディアの使い分けを決定するもうひとつの要因」『第13回ヒューマン・インタフェース・シンポジウム』計測自動制御学会ヒューマン・インタフェース部会、10月23日（木下結加里と共同発表）
- ・「病院の活性化とチームワークづくり」平成9年度近畿ブロック赤十字病院中堅職員研修会、10月23日

### < その他の業績 >

- ・「和光大学授業研究会『語り合い見せあい大学授業』（大月書店、1996年、232頁、2200円）」『大学教育研究』第5号、神戸大学大学教育研究センター、75頁～77頁
- ・「シラバス・データベースの構築と運用」『大学教育研究』第5号、神戸大学大学教育研究センター、135頁～139頁

## 山内 乾史 助教授

### < 編纂書の一部に執筆したもの >

- ・「学生は何を感じ、どう変わったのか」京都大学高等教育教授システム開発センター編『開かれた大学授業をめざして - 京都大学公開実験授業の一年間 - 』玉川大学出版部、134頁～147頁

### < 紀要・雑誌等論文 >

- ・「授業改善に関する実践的研究 3 . 授業参観についての一考察」『大学教育研究』第5号、神戸大学大学教育研究センター、59頁～63頁（米谷 淳と共著）
- ・「大学改革と志願者数の増減 - リクルート・私立大学短大理事長調査を中心に - 」『大学教育研究』第5号、神戸大学大学教育研究センター、65頁～73頁
- ・「高校生の進路選択の実態 - 「ポスト・バブル」期の進学行動 - 」『大学論集』第26集、広島大学大学教育研究センター、205頁～218頁（原 清治と共著）
- ・「教養部解消と独立研究科設置 - 4つの国立大学でのインタビュー記録から - 」波田重熙（研究代表者）『学士課程と大学院のカリキュラムの接続に関する基礎的研究』神戸大学大学教育研究センター、29頁～53頁（米谷 淳と共著）
- ・「教養部解消と独立研究科設置 - 4つの国立大学でのインタビュー記録から - 」波田重熙（編）『学士課程と大学院のカリキュラムの接続に関する基礎的研究（大学教育研究別冊第3号）』神戸大学大学教育研究センター、29頁～53頁（米谷 淳と共著）
- ・「授業評価はどこまで可能か 6 . もうひとつの授業評価」北海道大学・名古屋大学・大阪大学・神戸大学『S C S シンポジウム 1997 全学共通教育改革の現状と課題』26頁～29頁
- ・「基本主題科目はどこへ行くか コメント」北海道大学・名古屋大学・大阪大学・神戸大学『S C S シンポジウム 1997 全学共通教育改革の現状と課題』50頁～51頁
- ・「開く - エリート形成と高等教育 - 」『人間科学研究』No.5 Vo.1、神戸大学発達科学部附属人間科学研究センター、129頁～133頁

### < 学会発表等 >

- ・「授業評価はどこまで可能か？」第3回S C S シンポジウム「全学共通教育改革の現状と課題」（北海道大学・名古屋大学・大阪大学・神戸大学共催）（米谷 淳と共同発表）6月10日
- ・「基本主題科目はどこへ行くか？」第5回S C S シンポジウム「全学共通教育改革の現状と課題」（北海道大学・名古屋大学・大阪大学・神戸大学共催）（貝沼洵教授（名古屋大学）のレポートに対するコメント）6月30日
- ・「開く - エリート形成と高等教育 - 」神戸大学発達科学部附属人間科学研究センター第4回月例会、7月2日

### < その他の業績 >

- ・「織田作之助著述一覧稿（ ） - 補遺と考察 - 」『近代』第81号、神戸大学近代発行会、47頁～70頁
- ・「G . ウォルフォード（竹内洋・海部優子訳）『パブリック・スクールの社会学 - エリート教育の内幕 - 』（世界思想社、1996年、362頁、3900円）『大学教育研究』第5号、神戸大学大学教育研究センター、77頁～78頁

## 大学教育研究センター研究部の研究プロジェクト（平成9年度）

平成9年度大学改革推進費「シラバスの運用・評価・改善に関する調査研究」5000千円

平成9年度カリキュラム改革調査研究経費「教養原論における授業改善に関する調査研究」1263千円

\* S C S シンポジウム「全学共通教育改革の現状と課題」開催（北海道大学・大阪大学・名古屋大学と共催）  
全8回

\* S C S 合同研究会開催（北海道大学高等教育機能開発総合センター・東北大学大学教育研究センター・九州大学大学教育研究センター）全3回

\* 実験授業の開催 平成9年度前期 山内乾史助教授「発達と教育」（教養原論）  
平成9年度後期 米谷 淳助教授「心と行動」（教養原論）